

かれんな花が初夏を彩る  
クリンソウまつり開催

6月24日、上里の町民の森自然公園内で第2回クリンソウまつり（津別観光協会主催）が行われ、初夏を彩るかれんな花を求め、午前中から多くの家族連れで賑わいました。

今年は昨年より1週間、開催日を遅らせたため公園内はクリンソウで満開となり、各地から訪れた450人の方は遊歩道からクリンソウを眺めたり、カメラに収めたりしていました。

釧路市から訪れた親子連れは「津別町に初めて観光に来ました。クリンソウはとてもしきれいですね。来年も家族で見に来ます」と笑顔で話してくれました。

佐藤久哉観光協会会長は「オホーツクの花の名所としてこれからも宣伝していきたいです」と話してくれました。



道内各地から多くの人々が訪れたクリンソウまつり

行灯行列が町内を練り歩く  
生徒の力を集結した第50回津高祭

7月14日、15日の2日間、第50回津高祭が開催され、YOSAKOIや行灯パレードなど、学校と町民が一緒になってお祭りを楽しみました。

今年の行灯行列は一般参加者を含めた7基が学校前をスタートし、会場の津別病院駐車場までの1.5kmをパレードしました。

「クマのプーさん」や迫力のあるねぶたの「桜我」なども力作でしたが、審査の結果、3年A組「桜我」が優勝しました。

学年ごとに演舞したYOSAKOIは3年生の「美乱」が最高の踊りで優勝しました。

最後に生徒たちが廃品回収の資金で打ち上げた花火大会が行われ、記念すべき第50回津高祭を終えました



力作揃いの7基の行灯が町内をパレードしました



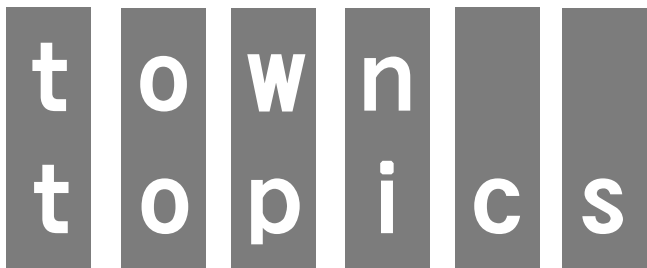
行灯をバックにYOSAKOIを披露する高校生

バスターミナルに花壇のデザインが決定！  
後藤里乃さん（津小1）の希望の星が最優秀賞



6月23日、花のまち推進協議会と津別町で募集していたバスターミナルの花壇デザインの表彰が行われ、最優秀賞に後藤里乃さん（津別小1）、優秀賞に山田愛果さん（活汲小6）、川瀬安咲さん（津別小6）、藤原美優さん（津別小2）、五島明日未さん（津別小2）が星屋光春会長から表彰状と花苗が贈られました。

その後、推進協議会会員と入賞者約30人がマリーゴールドやベコニアの苗860本をデザイン画のように植えました。子どもたちの夢がいつばいの花壇は、バスを利用する方の目を楽しませてくれそうです。



まちのわだい

鷓木絵里さんの歌声が響く  
青少年移動芸術劇場開催

7月6日、中央公民館で町内の小中学生を対象にした青少年芸術劇場「鷓木絵里ソプラノ・コンサート」が開催されました。

この行事は地域の児童生徒に生の優れた芸術を鑑賞してもらおうと毎年開催されています。

鷓木さんはアニメやミュージカルの歌を中心に「さんば」「マイフェアレディ」などソプラノの歌声を藤井亜紀さんのピアノに合わせて子どもたちに披露しました。子どもたちは生で聴くソプラノの魅力に引き込まれていました。



鷓木さんはアンコール曲の「星に願いを」を含む9曲を熱唱し、会場からは大きな拍手が送られていました。

7月18日、津別商工会女性部（富田沙智子部長）による津別峠展望台施設の清掃ボランティアが行われました。この活動は商工会女性部による地域への貢献活動として平成3年から行われています。

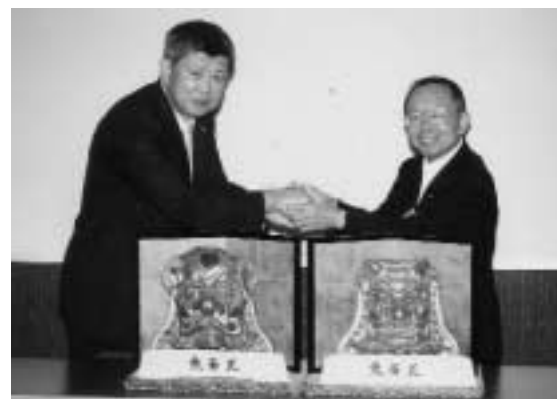
この日は16人の女性部員と職員が参加し、展望台駐車場のゴミや窓ガラスの汚れを約1時間かけて清掃しました。

富田部長は「津別峠の眺めをきれいな施設で気持ちよく見てもらえれば幸いです。これからも奉仕活動を続けていきたいです」と話してくれました。



商工会女性部が清掃ボランティア  
汚れが一掃された津別峠展望

南アルプス新市長が来町  
特産品甲州鬼面瓦を町に寄贈



7月8日、つべつ夏まつりに南アルプス市の新市長今沢忠文市長が来町し、議会や商工農林業関係者と交流を深めました。

津別町と南アルプス市は平成16年10月に姉妹都市を提携し、教育や産業・文化・スポーツを通じたさまざまな分野での交流が続いています。

翌日、役場を表敬訪問した今沢市長は南アルプス市の特産品「甲州鬼面瓦」を佐藤多一町長に寄贈しました。今沢市長は「おまつりを楽しんでる皆さんの姿を見て津別の広大さを感じました。今後も交流を深めていきましょう」と話していました。

7月18日、河岸公園で一人ぐらしの集い（津別町社会福祉協議会主催）が開催され、町内在住の65歳以上のお年寄り78人がジンギスカンを食べたりゲームをして交流を深めました。大勢で食べるジンギスカンに会話も弾み、みなさんの顔は笑顔でいっぱいでした。

昼食後は豪華賞品が当たるビンゴゲームや参加者による北海盆歌などが行われ、楽しい1日を過ごしました。

ビンゴゲームで1位になった東3条在住の古館さんは「毎回参加しています。みんなの顔を見ながら食べるジンギスカンはとてもおいしいです。」と話してくれました。



ジンギスカンとゲームで交流深まる  
一人ぐらしの集いに78人が参加

木登りの魅力に触れる  
ツリーイング体験会開催

6月17日、21世紀の森キャンプ場でロープを使って木登りを楽しむツリーイング体験会（津別町振興公社主催）が開催されました。

参加した9人の子どもたちはTMC A道東ブロックのインストラクターに指導を受けながら高さ20mのにれの木登りに挑戦しました。

初めはロープの使い方に悪戦苦闘していましたが、すぐにコツをつかみ登っていききました。子どもたちはツリーモックで休憩しながら眺めを楽しんだり、次の木に挑戦するなど、すっかりツリーイングの魅力にとりつかれたようです。



ツリーイングの  
魅力にとりつかれたようです。